



アグリゲートの管理 Cloud Volumes ONTAP

NetApp
July 18, 2022

目次

アグリゲートの管理	1
アグリゲートを作成する	1
アグリゲートを管理する	2
コネクタの容量設定を管理します	3

アグリゲートの管理

アグリゲートを作成する

アグリゲートは、自分で作成することも、Cloud Manager でボリュームを作成するときに作成することもできます。アグリゲートを手動で作成することのメリットは、基盤となるディスクサイズを選択して、必要な容量またはパフォーマンスに合わせてアグリゲートをサイジングできることです。



すべてのディスクとアグリゲートは、Cloud Manager から直接作成および削除する必要があります。これらのアクションは、別の管理ツールから実行しないでください。これにより、システムの安定性が低下し、将来ディスクを追加できなくなる可能性があります。また、クラウドプロバイダの冗長料金が発生する可能性もあります。

手順

1. キャンバスページで、アグリゲートを管理する Cloud Volumes ONTAP インスタンスの名前をダブルクリックします。
2. メニューアイコンをクリックし、[* 詳細設定]、[詳細な割り当て *] の順にクリックします。
3. Add Aggregate * をクリックして、アグリゲートの詳細を指定します。

AWS

- ディスクタイプとディスクサイズの選択を求めるメッセージが表示された場合は、を参照してください ["AWSでCloud Volumes ONTAP 構成を計画"](#)。
- アグリゲートの容量のサイズを入力するように求められたら、Amazon EBS Elastic Volumes機能をサポートする構成でアグリゲートを作成します。次のスクリーンショットは、GP3ディスクで構成される新しいアグリゲートの例を示しています。

["Elastic Volumesのサポートに関する詳細情報"](#)。

4. [* Go *] をクリックし、[* 承認して購入 *] をクリックします。

アグリゲートを管理する

アグリゲートの管理を自分で行うには、ディスクの追加、アグリゲートに関する情報の表示、およびアグリゲートの削除を行います。




すべてのディスクとアグリゲートは、Cloud Manager から直接作成および削除する必要があります。これらのアクションは、別の管理ツールから実行しないでください。これにより、システムの安定性が低下し、将来ディスクを追加できなくなる可能性があります。また、クラウドプロバイダの冗長料金が発生する可能性があります。

アグリゲートを削除する場合は、まずアグリゲート内のボリュームを削除しておく必要があります。

アグリゲートのスペースが不足している場合は、System Manager を使用してボリュームを別のアグリゲートに移動できます。

手順

- キャンバスページで、アグリゲートを管理する Cloud Volumes ONTAP 作業環境をダブルクリックします。
- メニューアイコンをクリックし、[* 詳細設定] > [高度な割り当て *] をクリックします。
- アグリゲートの管理：

タスク	アクション
アグリゲートに関する情報を表示します	アグリゲートを選択し、* Info * をクリックします。
特定のアグリゲートにボリュームを作成します	アグリゲートを選択し、* ボリュームの作成 * をクリックします。
アグリゲートにディスクを追加します	<div><div>a. アグリゲートを選択し、* ディスクの追加 * をクリックします。</div><div>b. 追加するディスクの数を選択し、* 追加 * をクリックします。</div></div> <div> アグリゲート内のディスクはすべて同じサイズである必要があります。</div>
Amazon EBS Elastic Volumes をサポートするアグリゲートの容量を増やす	<div><div>a. アグリゲートを選択し、* 容量を追加 * をクリックします。</div><div>b. 追加する容量を入力し、* 追加 * をクリックします。</div></div> <p>アグリゲートの容量は256GiB以上、またはアグリゲートのサイズの10%以上拡張する必要があります。</p> <p>たとえば、アグリゲートのサイズが1.77TiBの場合、10%は181GiBです。これは256 GiBよりも小さいため、アグリゲートのサイズを256 GiB以上増やす必要があります。</p>

タスク	アクション
アグリゲートを削除します	a. ボリュームを含まないアグリゲートを選択し、 * Delete * をクリックします。 b. 再度 * Delete * をクリックして確定します。

コネクタの容量設定を管理します

各コネクタには、Cloud Volumes ONTAP のアグリゲート容量の管理方法を決定する設定があります。

これらの設定は、コネクタによって管理されるすべてのCloud Volumes ONTAP システムに適用されます。別のコネクタがある場合は、別の方法で設定できます。

コネクタ設定を変更するには、アカウント管理者権限が必要です。

手順

1. Cloud Manager コンソールの右上にある設定アイコンをクリックし、 * コネクタ設定 * を選択します。
2. *容量*で、次のいずれかの設定を変更します。

Capacity Management Mode（容量管理モード）

ストレージ容量の決定についてCloud Managerから通知するかどうか、またはCloud Managerが容量の要件を自動的に管理するかどうかを選択します。

["容量管理モードの仕組みをご確認ください"](#)。

空きスペース率

アグリゲートの空きスペース率が指定したしきい値を下回ったときに通知をトリガーします。

空きスペース率は、次のように計算します。

$$\frac{(\text{アグリゲート容量} - \text{アグリゲートで使用されている合計容量})}{\text{アグリゲートの容量}}$$

データ階層化の空きスペース率

データを大容量階層（オブジェクトストレージ）に階層化するときに必要な高パフォーマンス階層（ディスク）の空きスペースの量を定義します。

この比率はディザスタリカバリのシナリオにとって重要です。大容量階層からデータが読み取られると、Cloud Volumes ONTAP はパフォーマンス階層にデータを移動してパフォーマンスを向上させます。十分なスペースがないと、Cloud Volumes ONTAP はデータを移動できません。

3. [保存（ Save ）] をクリックします。

著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。